

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	新川老人福祉会	代表者	大熊知博	法人・事業所の特徴	特別養護老人ホームを古くから開設している法人で、多種の施設や介護保険のサービス事業所を運営している。小津の里もその一つであり、大町、村木地区を中心に出来るだけ地域で暮らせるように柔軟な個別サービスを行っている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 小津の里	管理者	山崎なぎさ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	2人	1人	人	1人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	小規模事業所の研修に参加する。	管理者のみの参加	介護ひとつでもいろいろ考えて行っていることが分かった。	利用者の個別対応を理解する。
B. 事業所のしつらえ・環境	丁寧な言葉づかいで、利用者や家族に接する。	出来るだけ丁寧な言葉づかいを心掛けているが方言など出てしまう。	認知症カフェなどの場として利用できればよい。	玄関を整備する。 挨拶の徹底
C. 事業所と地域のかかわり	祭礼など地域の行事に参加する。	魚津祭り、灯籠流し、魚津神社の祭礼に参加した。	小火の時、地域の方々のご協力をいただき、施設として見守られていると感じた。	公園花壇の継続
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	民生委員や地域住民とのコミュニケーションを普段から取る。	問い合わせがあれば応じている一人暮らしの方は送迎時に挨拶している。	一人暮らしの利用者など具体的な事例があればよい。	現在利用中の一人暮らし利用者の近隣の方々に小津の里を知ってもらう
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で事業所の取組みを伝える。	運営推進委員会にて事業所の取組みについて話し合った。	行政との意見交換ができてよかった	運営推進会議で事例を紹介する。
F. 事業所の防災・災害対策	すべての災害について防災計画を立てる。	避難計画を作り、避難訓練を行った。	火事とはともかく災害時は要介護者を避難させるのは困難である。	年二回火災と地震の避難訓練を行う。